

■ 平成23年2月23日（水）議長記者会見概要

場 所：県政記者室（県庁内）

出席者：出口武男議長、藤本昭広副議長、上田悟広報委員会座長

〈案件〉

○ はじめに

議長： この2月議会で4年の議員任期に終止符が打たれる。昨年11月に議会基本条例を制定したことでもあり、現在、この4年間を振り返り、今後の議会の方向付けをしているところである。



上田悟広報委員会座長 出口武男議長 藤本昭広副議長

○ 議会改革推進会議の検討結果について

広報座長： 議会改革推進会議を設置し、これまで3回の会議を開催した。常任委員会については、厚生委員会所管のくらし創造部を文教委員会に所管替えし、文教くらし委員会とする案をとりまとめた。特別委員会については、特別委員会の設置等に関する申し合わせ（案）をとりまとめ、先日の各派連絡会でその案が承認された。今後の特別委員会のテーマとして、8つのテーマを案として作成したが、具体的には、統一選挙後、協議されることになる。予算及び決算審査特別委員会については、改選後の議会改革推進会で協議いただく予定。（資料1）

○ 平成19年4月からの議会活動について

平成19年5月臨時会からの議会活動を振り返り、主なできごとを紹介。（資料2）

〈質疑応答〉

○ 特別委員会について

記者： 特別委員会は8つのテーマで必ず設置されるのか。

広報座長： 現在5つの特別委員会を設置しているが、今後は5つ以上の場合もあれば、5つ以下のこともあり得る。設置に関する申し合わせでは、2つ以上の常任委員会にまたがるもの、特に重要なもので集中して審査する必要があるもの等を規定している。議会基本条例でも規定したとおり、議員相互間の討議の方法により活発な議論ができるように特別委員会を運営したい。

記者： 関西広域連合をテーマとする特別委員会が興味深いが、どういう名称になるかも含めて統一選後に新しい議員で考えようということか。

広報座長： 議会改革推進会議では、関西広域連合の議論をする委員会を立ち上げようとの意見があった。県として参加しないと表明している中で、関西広域連合の特別委員会を設置しても審議する内容がないとする意見もあった。地方分権、広域連携、関西広域連合をすべて含んだ特別委員会が必要という意見もあった。

○ 2月議会の開会にあたって

記者： 2月議会の見所は。

議長： 2月議会は予算審議が中心になる。予算の中では、平城遷都1300年祭の後をどう継続するかがポイントとなるのでは。

○ 関西広域連合について

記者： 議会としてどのように考えるか。

議長： 様々な意見や課題があることは承知している。議会としては、請願審査も含め慎重な議論が必要と考える。私としては、「あえて広域連合でなくても、広域連携で可能」という知事の懸念や意見も理解できる。

副議長： 県民や議員の中において広域連合の捉え方は様々。今後、多様な議論の集約が必要。